



支部長 ごあいさつ

目黒支部支部長 中島 貴史

東京都行政書士会目黒支部支部長を拝任しております中島貴史です。平素は支部活動にご理解下さり、誠にありがとうございます。

本年令和8年は、行政書士制度75周年という記念の年であり、また、改正行政書士法の1月1日からの施行という、行政書士にとって歴史的な転換点となりました。国民の権利利益の実現に資することとする

「使命」の明記、公正かつ誠実にその業務を行なわなければならない「職責」の新設、士業の法律として初めて記載されたデジタル社会への対応努力義務、特定行政書士の業務範囲の拡大、業務制限規定の明文化と罰則強化、両罰規定の整備と、その内容は多岐にわたります。

これは単なる制度の変化ではなく、我々一人ひとりがプロフェッショナルとして、より高い次元へのレベルアップが求められているのだと痛感しております。

レベルアップすべきは、知識ではありません。昨年の11月には目黒区役所主催「防災フェスタ」の開催にあたり、罹災証明書申請体験コーナーブースに参加しました。区民の皆様と触れ合う中で私たちがどのような役割をすべきなのかを考えるきっかけをいただきました。

我々目黒支部は、災害時の罹災証明申請のお手伝いはもちろんのこと、その先に続く「17ある罹災証明に基づく災害支援」についても、しっかりと地域に寄り添えるよう、今後研修会を通じて研鑽を積んでまいります。

私は政治連盟の支部長を兼任しておりますが、昨年は東京都議会議員選挙において当政連支部は青木英太議員、山口星矢議員を推薦、先ごろ行われた衆議院議員選挙では今岡植議員を推薦し、お三方を議会にお送りすることができました。

また本年度も、「自由民主党目黒区議団・区民の会」「めぐろの未来をつくる会」「公明党 目黒区議団」「立憲民主・目黒フォーラム」の各会派の皆様にご政策要望をお伝えすることができたことをご報告いたします。

今後も目黒区の地域の皆様との共生の絆を強めていくことに邁進してまいります。私はこれらの活動が、行政書士の地位向上や支部会員の利益につながると確信しております。

最後に、会員の皆様のご健勝ご多幸をお祈りいたしまして、また、支部の更なる発展を祈念いたしまして、支部長の挨拶とさせていただきます。

東京本会賀詞交歓会、京王プラザで盛大に



令和8年の新春を寿ぐ東京都行政書士会の賀詞交歓会が1月8日、東京・新宿の京王プラザホテルで開催された。会場には、小池百合子都知事や片山さつき財務大臣らが駆け付け、本会のさらなる発展にエールを送った。

会には約700人が参加。第1部で東京都知事の感謝状授与式や都功労者表彰と叙勲の受章者らへの記念品贈呈が行われた。第2部の交歓会では支部ごとにテーブルが分かれ、会員らは新年のあいさつと歓談に花を咲かせ、料理を楽しんだ。自身も行政書士の資格を持つ片山財務相も各テーブルを次々と回り、会員らと言葉を交わした。

この日は、昨年の行政書士法改正で尽力した山東昭子・元参院議長の日本行政書士政治連盟の顧問就任も披露され、山東元議長は「これからも皆様のお力になりたい」とさらなる支援を約束した。



目黒区管内警察署長を表敬、連携を約束

特殊詐欺などの手口が巧妙化し、「闇バイト」による凶悪事件も起きる中、目黒支部役員会は昨年11月6日、連携強化に向け、目黒、碑文谷両署の署長を表敬訪問した。

目黒署の鈴木浩署長は前任が警視庁特殊詐欺対策本部の理事官。捜査の陣頭指揮を執っていただけに、会

話の中でも犯罪グループ壊滅への強い決意がのぞいた。

警備畑を歩んできた碑文谷署の山崎亘署長は「管内は富裕層が多く、犯罪グループのターゲットになりやすい。緊張感をもって警戒、捜査に当たっている」。両署長は「何かあったら警察に相談して」と連携を約束した。



碑文谷警察署にて



目黒警察署にて



他士業同士の関わりの大切さを実感～目黒区士業交流会体験記

小川佐久良

目黒区総合庁舎の食堂で昨年12月5日、士業交流会が開催された。鈴木理志区議会議長、小野瀬康裕区議会議員や同区内の6士業団体の先生方ら約60人が参加、情報交換や歓談で大いに盛り上がった。

中島貴史支部長の挨拶に続き、浅見雄介副支部長の乾杯の発声で会がスタート。お酒も入り、会場は次第に和やかで活気ある雰囲気になった。この日は片山さつき財務大臣から動画メッセージが寄せられ、会場からは驚きの声。大臣直々の祝辞に会場は自然と静まり、参加者一人ひとりが真剣な面持ちで耳を傾けていた。



私は今回が初めての参加で、しかも厚生部員として受付の担当だったので、少し緊張して会場へ向かった。来賓の名簿確認や会費の授受には思いのほか神経を使ったが、無事終えた時は、ほっと胸をなで下ろした。佐藤雄一副支部長の司会のもと盛況の会の様子を間近で感じる事ができたのは、運営側としても嬉しい経験だった。

終了後は会を主催した行政書士会のメンバーで後片付けを行ったが、なんと小野瀬議員も一緒に椅子やテーブルの移動などを手伝って下さった。これにはメンバーから思わず驚きと笑顔がこぼれ、印象深い締めくくりとなった。

私自身、行政書士登録をしてから一年が経ち、他士業同士の関わりの大切さを改めて実感している。本交流会は、身近な地域で多くの先生方と出会える貴重な機会であり、名刺交換や情報共有は今後の業務に活かされるものであると確信できた。本交流会が目黒の士業の皆さん全体の成長・発展につながる“ご縁の場”となればと思う。



先進的取り組みに感銘～武鷹支部意見交流会



目黒支部が昨年10月2日、武鷹支部と共同開催した意見交換会に参加し、支部運営について討議した。

会には双方の役員会メンバー十数人が出席。武鷹支部では自治体と協定を結び、空き家セミナーや商店会支援等の受託事業を積極的に展開している点が非常に先進的だと感じた。

目黒支部も現在、自治体連携を模索中であり、これらの事例は大いに参考になる。

また、無料相談員の確保に向け登録制度の導入や、郵送費の外部委託によるコスト削減といった具体的な改善策は、今後の運営や予算配分に積極的に取り入れ、より良い支部づくりに活かしていきたい。(八木 和真)

衆院選で推薦候補を応援、今岡氏が初当選



真冬の政権選択となった2月8日投開票の衆院選で、東京行政書士政治連盟および東政連目黒支部では推薦候補に対して活発な応援を展開した。

目黒区と大田区の一部を選挙区とする第26区では、支部推薦の今岡植氏(自民)と東政連推薦で現職の松原仁氏(無所属)ら6人が立候補。激しい選挙戦を繰り広げたが、今岡氏が松原氏を振り切り、初当選を決めた。他に宇佐美登氏(未来の会)が比例復活で当選した。



自由が丘駅前にて

目黒支部新年賀詞交歓会 72人参加し盛大に

令和8年の目黒支部新年賀詞交歓会が1月27日、JR目黒駅近くのレストラン「香港園」で開催された。会には過去最多規模の来賓42人、支部会員30人の計72人が参加。大きな盛り上がりを見せた。

昨年まで会場としていた雅叙園が改装等で閉鎖中のため、今年は香港園に舞台を移した。一流ホテルで結婚式を手掛けていた野澤美樹会員のアドリブも織り込んだ司会で会はスムーズに進行し、東京音楽大学OGの菅千賀子さん（バイオリン）と高根由佳さん（ピアノ）の2人によるクラシックの美しい調べが和やかな会場に華を添えた。

参加者はみな中華料理のバイキングに舌鼓を打ち、笑顔で歓談する様子が見られた。この日は衆

院選の公示日とあって、東京行政書士政治連盟目黒支部が推薦した今岡植氏と東政連推薦の松原仁氏の両候補も選挙戦の合間を縫って駆けつけた。

また、片山さつき財務相と自民党の有村治子総務会長から届いた長文の祝電が披露されると、会場からは大きな拍手が送られた。

支部の厚生部員一同はこの日に向けて話し合いを重ね、入念に準備を進めてきたが、参加者におおむね好評だったと聞いて安堵した。来年以降も会員同士の親交を温め、来賓の方々と目黒支部との関係をより一層深める会を開催することを目指したい。（木佐木 慶子）



アルバムで振り返る 名場面



ヴァイオリンとピアノの
美しいハーモニー



新年の書をご披露頂いた
鈴木理志・区議会議員を囲んで



青木英二区長新年の一句



各支部長の皆様



大盛り上がりの歓談タイム





歓談に、料理に、笑顔はじけた

「有事に何ができるか」 会場で熱量を得て、研鑽誓った
伊勢さやか



目黒駅近くの香港園で開催された賀詞交歓会。衆院選の公示日とも重なって、会場は多くの会員や来賓、議員の先生方の熱気に満ちあふれていた。私は受付を担当し、皆さんを笑顔で迎える中で初参加の緊張も和らいだ。同期の仲間や女性の先輩方とも和やかに交流することができ、とても有意義だった。

中島支部長のあいさつに続いて、青木英二区長が豪雨や地震の対策を熱く語り、恒例となった短歌を披露すれば、鈴木理志区議会議長は躍動感あふれる書を披露。会場からは大きな拍手が送られた。片山さつき財務大臣からの長文の祝電も届き、皆さんが真剣なまなざしで耳を傾ける姿がとても

印象的だった。

会の最後には目黒支部の新入会員が全員前に出て紹介され、一言ずつ抱負を述べた。少し気恥ずかしかったが、なんだかとても誇らしくも感じた。

本年1月の改正法施行を機に、我々行政書士の職能は社会で一段と拡大することになった。地域に根ざす実務家として大災害など有事の際に何ができるのか。そのことを常に考え、「士業フェスタ」など他士業との連携強化を図る取り組みを考えていきたい。交歓会で得た熱量を力に、日々の研鑽と支部の発展に貢献できるよう邁進する決意を新たにした。



青木英二区長を囲んで



目黒支部新入会員紹介



小野瀬康裕・前区議会議長



自民党区議の皆様



豪華な中華料理のバイキング



会場全景



秋の広報キャンペーンで恒例の無料相談会が昨年10月12、15の両日、目黒区内で開催された。めぐろ祭りの会場で行われた12日は、支部会員16人が参加し、簡単に野菜の摂取度を測れるベジチェックも同時に実施。70人からアンケートの回答があり、遺言や相続を中心に11件の相談に対応した。区役所総合庁舎で行われた15日は、22件の相談があり、16人の支部会員が交代で対応。相談者からは「とてもよくわかった。悩みが一つ解決した」といった声が聞かれた。



多くの「気づき」に勇気もらった～

岸田将典

相談会では多くの「気づき」があった。まず、行政書士がどんなことをできるのかを知らない相談者が多いことだ。何をしてくれるか分からないけど、とりあえず相談にやって来る人が多い印象を受けた。行政書士にとっては当然のことでも、一般の人にはわかりづらいということに気がつき、悩みを聞きながら、できることを明確に答えることが大切だと改めて認識させられた。

先輩方との関わりも非常に嬉しく感じた。登録して間もない自分には知り合いがおらず、この先どうやって仕事を進めようか不安だった。皆さんが優しく声をかけてくださり、アドバイスをたくさんいただき、「登録してすぐのころに悩んでいたのは自分だけじゃない」と安心し、勇気ももらえた。本当にありがとうございました。



お祭りムードの中、支部PRに手ごたえ

下道朋絵



名物の焼きサンマがふるまわれ、歌やダンスのステージ、屋台や催し物で大いににぎわう区民祭り。今年も目黒支部は広報活動の一環としてブースを設け、無料相談会を行った。

今回は、手のひらをかざすと野菜の摂取量が足りているか、ピッと判定してくれる「ベジチェック」なるものを導入。これに関心を集め、アンケートや無料相談コーナーに誘導しようという作戦だ。

「野菜の摂取量チェックしてみませんか～」と声をかけると、多くの方が快く測定に参加してくれ、順番待ちの椅子が満席になる時間帯も。ベジチェックの待ち時間にアンケートを実施し

たり、無料相談コーナーを案内したりと、たくさんの区民に目黒支部を紹介することができた。後日のアンケート集計では、相談件数が昨年より増えたとの結果。今回初めての参加だったが、無料相談でもお役に立てるよう自己研鑽を重ねていきたい。



区民の防災意識強化に寄与を実感



目黒区が主催する防災フェスタが昨年11月2日、目黒区立第十中学校で開催され、「罹災証明書の書き方」の補助業務に東京都行政書士会目黒支部として参加した。

目黒区では紙だけでなくオンラインでも罹災証明書を申請することができ、当日はサンプルの罹災証明書を入力するとスタンプラリーのスタンプがもらえるという企画に100人以上がチャレンジ。参加者からは「スマホでこんなに簡単に申請できるの」と驚きの声が上がっていた。

昨年9月11日に目黒区内で1時間に134ミリという猛烈な大雨被害があり、自由が丘周辺で多くの浸水被害が出ただけに、参加者は真剣なま

なざしでイベントに取り組んでいた。われわれ支部会員にとっても、区職員の皆さんと連携することができ、区民の防災意識の強化に寄与することができた実感できる素晴らしいイベントとなった。（浅見 雄介）





岸田将典

●目黒支部に入会致しました岸田と申します。看護師として長年医療現場に携わってきた経験を活かし、現場実務を理解した上で事業運営に必要な行政手続きを支援しています。現場が本来の業務に専念できるよう、行政対応の不安や負担を軽減することを大切に、医療分野専門行政書士として活動して参ります。



石原圭子

●昨年12月24日の登録式を了し、行政書士になりました石原と申します。経験を重ねて、人様の人生の節目に関わる大切な書類手続において役立つ行政書士、また、日本の発展にも貢献できるような行政書士を目指しております。

しばらくの間は研修で基本的知識を学び、また、第一線でご活躍の諸先輩のご経験や知見についても伺いたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

支部会員の異動



登録

2026年2月27日現在の目黒支部会員数は146名（うち法人2）です

岸田将典	目黒区目黒本町1-8-9	JASPER学芸大学102	080-6240-9736	8月
森 隆夫	目黒区自由が丘2-9-15	宮崎第1ビル2階	03-5726-3866	9月
石原圭子	目黒区柿の木坂1-24-23		080-9046-9350	12月

変更

下道朋絵	目黒区目黒本町5-20-7-107	8月
村中 巴	目黒区中目黒3-8-14 第2青興ビル301	10月
前川明宏	前川明宏行政書士事務所	12月

転出

木村浩康	7月（世田谷支部へ）
吉田倫子	7月（千葉県会へ）
松葉孝宏	8月（千代田支部へ）
劉 瑛	9月（墨田支部へ）

廃業

新堂雄一朗	9月
越智秀也	9月
小林富佐子	9月

「行政書士の必須知識」 入管業務テーマに支部研修

入管業務をテーマとした支部研修を昨年12月23日、八雲住区センター別館で開催した。

本支部の浅見副支部長を講師に「身分系」の在留資格について解説してもらい、自分は「就労系」の在留資格の最新情報をお話した。

フィリピンからの来日者を中心に特殊な案件まで手掛ける浅見副支部長の講義は、『認知届』

の書き方にまでおよび、ここでしか聞けない貴重な内容だった。

外国人の来日や在留については最近のニュースでもよく話題に上っているが、今後も増加し、入管手続は、行政書士に求められる必須知識といえる。支部では今後も、実務で活躍されている先生に活きた情報の共有をお願いしようと思っている。

（佐藤 雄一）

支部からのお知らせ

東京都行政書士会目黒支部定時総会及び
東京都行政書士政治連盟目黒支部定期大会を
下記のとおり開催いたします。

日時：2026年4月22日（水）17：30～20：30

場所：下目黒住区センター（目黒区下目黒2-20-19）
301・302号室

目黒支部の動き

2025. 9 ~ 2026. 2

- 9月 22日 支部役員会を実施
- 10月 2日 武鷹支部と意見交流会
- 10月12日 目黒まつり無料相談会を開催
- 10月15日 広報月間無料相談会を開催
- 10月20日 支部役員会を開催
- 11月 2日 防災フェスタ参加
- 11月 6日 目黒、碑文谷両署署長を表敬訪問
- 11月25日 支部役員会を開催
- 12月 5日 士業交流会を開催
- 12月22日 広報部会を実施
- 1月 14日 支部役員会を開催
- 1月 27日 支部新年賀詞交換会を開催
- 1月 29日 広報部会を実施
- 2月 27日 広報誌第50号「めぐろ 駆ける」を発行

行政書士無料相談会

2025. 9 ~ 2026. 2

※無料相談は毎月第4金曜日の13:00~16:00に目黒区総合庁舎で行われている。

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 9月 26日 | 前田充康 | 中島貴史 |
| 10月24日 | 村中巴 | 川上秀明 |
| 11月28日 | 長谷川直子 | 植田健一 |
| 12月26日 | 佐藤雄一 | 村上久徳 |
| 1月 23日 | 舘素子 | 野田明人 |
| 2月 27日 | 片山雅文 | 益子千波 |
| 3月 27日 | 前田充康 | 小川佐久良 |



東京行政書士政治連盟目黒支部の活動

2025. 8 ~ 2026. 2

- 8月27日 自民党区議団に政策要望書を提出
公明党区議団に政策要望書を提出
- 9月 3日 立憲民主党区議団に政策要望書を提出
- 10月3日 目黒の未来をつくる会に政策要望書を提出
- 1月27日 衆院選で東政連・支部推薦候補の応援活動
~2月7日

編集後記

● 閑静な住宅街へと姿を変えた目黒競馬場跡。バス停の「元競馬場前」にその名を留めるのみだが、新しいタイトルを決める要因の一つとなった。娘たちを5年間通わせた幼稚園に近く、これほど親しみある場所がタイトルにつながって、なんだかうれしい。バス停の近くには、競馬場跡を示す馬の石碑がひっそりと立っている。5年間もその前を通っていたのに、存在に気づいたのは実はタイトルが決まってからだった。埋もれた歴史は往々にして、案外足元に転がっているものだ実感した。(小川)

● 厚生部員と賀詞交歓会の準備を進めているとき、まるで学生時代に文化祭の準備をしていた時のようなワクワク感があった。イベントは主催者と参加者の双方が楽しめることが理想であると改めて感じた。(木佐木)

● この春長男が中学校に入学する。地元のサッカーチームに所属しており、試合や練習に自転車であちこち送迎するのが週末の定番だった。中学生になればそんな送迎生活もひと段落であるが、我が家には選手がまだ3人控えている。広報誌の新しいタイトルのごとく、目黒を自転車で駆ける日々はしばらく続きそうである。(下道)

● 新タイトルを支部会員の皆さんはどのように感じられたらだろうか。『さんまのつぶやき』が絶妙なインパクトを持っていただけに、「難航」も覚悟したが、「馬」をテーマにすると決まってからはすんなりと進んだ。目黒という土地と馬との結びつきに加えて、馬からイメージする躍動感、そして干支が午であったことも後押しになった。未永く皆さんに親しまれるタイトルに育ってほしい。(片山)

めぐろ 駆ける
執筆者 野澤美樹



今回の執筆を機に、地元の駅を巡り直した。変わったところ、変わらないところが見えて、地域の力を再確認することができ、学びの多い時間だった。これからも地元のお客様に伴走していきたいと思う。



発行人 中島貴史
発行所 〒152-0002
東京都目黒本町6-22-3-201
Tel.03-6824-6896
編集人 東京都行政書士会目黒支部
片山雅文/木佐木慶子/小川佐久良/下道朋絵
HP <https://www.meguro-gyosei.com>

